

【資料1】令和2年度実施事業中間報告

意見等	説明等
<p>コロナ禍の中、世の中の形態が「集客型 分散型」と変化し、変化に対応できる世代差・男女差を感じさせる内容である。参加者の減はやむを得ない。</p>	<p>令和2年度にWi-Fi環境を整備し、新たにオンライン形式の講座を開始しました。希望者には事前の操作説明も行っており、今後も、幅広い世代の人に参加していただけるよう工夫していきます。</p>
<p>パソコンや就活等実際的な事業へは参加者が多いが、他の事業にも興味をもって参加している様子なのか知りたい。</p>	<p>来館時にチラシやポスターを見て、他の講座に申込みをしてくれる方がいます。</p>
<p>「出前ミニ講座」は、地域を開拓するうえで良い企画である。積極的に進めてほしい。</p>	<p>毎年依頼して、様々な切り口からの男女共同参画社会について学ぶ団体もあり、今後も継続していきます。</p>
<p>男女共同参画応援サイトは、どのような情報を掲載していくのか。</p>	<p>第5次計画の施策に基づき情報発信機能の充実に取り組んでおり、「災害と女性」「就活・地域活動のためのPC講座」「えーるトップランナー」（えーるとの関わりを機会に活躍し始めた方の紹介）の他、マンガやコントで身近な男女平等を考える内容を準備しています。また、区公式サイトへの入口をトップに掲載することで、区の男女共同参画関連の情報に相互的にアクセスできるよう工夫しています。</p>
<p>複数回開催の講座について、申込数より参加者が多い理由はなぜか。また、「延」とあるのは、毎回参加者を募集しているのか。</p>	<p>それぞれの実施ごとに募集締切日を設定しています。複数回受講の方もいるため、延人数の表記としています。</p>
<p>「これからライフ」でヨガ体操が実施されたが、コロナ対策はどのような形で行われたのか。</p>	<p>ソーシャル・ディスタンスが確保できる会場に変更し、入室時に検温、実施中もマスク着用、30分に1度の換気、使用前後にヨガマットの消毒を行っています。</p>
<p>「まったりサロン」の具体的な内容について知りたい。</p>	<p>家庭や職場で生きづらさを抱え、引きこもりがちな女性を対象としています。引きこもり当事者から経験談を聞いた後、同様の悩みを話合うグループワークを行っています。様々な悩みを共有することで、孤立感を払拭し、気持ちを楽に保つことを学ぶ機会としました。</p>

<p>区民企画講座「ママのための音楽遊び」について、具体的な内容と参加者の様子を知りたい。</p>	<p>音楽療法士によるピアノ伴奏にあわせ、参加者は珍しい打楽器を使って即興で自由な演奏をしました。育児に追われている日常に音楽を取り入れて子どもと接するヒントを得たり、本人が癒やされたとの声がありました。</p>
<p>開催を中止とした講座の理由を知りたい。</p>	<p>コロナ感染拡大防止のために休館となり、準備や実施に影響がありました。えーるフェスティバルなどの集客型講座や、乳幼児を含む講座、高齢者対象の講座を区民企画講座の主催団体から開催を控えたいと申し出があったために中止しました。</p>

【資料2】令和3年度男女共同参画センター事業年間計画（案）

意見等	説明等
<p>女性と男性と一緒に考えることができるような場を増やしてほしい。</p>	<p>男性向け講座には、常にパートナーや家族の参加も可能にしている他、コミュニケーション講座や映画上映会等には男女ともに参加し、男女共同参画について男女で考える機会となっています。引き続き同様の場を設定していきます。</p>
<p>オンライン形式の講座はこれから重要な事業になると思う。充実を図るとともに、実施後の検証も行ってほしい。</p>	<p>コロナ禍が長引くと考え、令和2年度秋から急遽オンライン講座を開始しました。アンケートへの回答率もよく、今後の検証に役立てていきます。</p>
<p>コロナ禍の状況がどうなるか見えない。今の時点で、可能な事業と困難な事業を分けておくべきだ。ただ中止・延期ではなく、どういう方法なら可能かを考えておくことが大切だ。</p>	<p>令和2年度の経験を活かし、オンライン講座などへの変更をはじめ、会場設営の工夫、参加者数の制限などを念頭に置きながら事業の計画を進めていきます。</p>
<p>多様な講座があるが、1か月前の区報だけではなくまとめて年度初めに知る機会があるとよい。周知を早めてはどうか。</p>	<p>「えーるだより」に約3ヵ月分の事業を掲載することに加えて、えーるサイトの「ひとあし早いおしらせ」コーナーを充実させ、周知を早める工夫をします。</p>
<p>一般的な女性の健康と安心を支える暮らしの実現というテーマの事業をもっと実施してほしい。</p>	<p>今後の事業の参考とさせていただきます。</p>
<p>発達障害の子供が増えていること、不妊が増えていることを踏まえて、食の大切さを発信してほしい。</p>	<p>今後の事業の参考とさせていただきます。</p>

<p>番号1について、「一人の女性としての人生」が「妻・母・嫁を越え」ないと実現できないのか。多様な生き方を認めることと矛盾している。</p>	<p>社会全体に性別役割分業意識が根強いために、若い母親達の行動が制限されがちで、子どもへの影響も大きくなっています。そのような環境の中、母親が一人の人間として自分自身と向き合うことで、多様な生き方に気づき、家族をはじめ周りの人々の多様な生き方をも認めることにつながると考えています。</p>
<p>番号2について、多様な性について理解を深めるためには、ジェンダーギャップ・障害を持つ方などについて知ることによって理解が深まる。そういう機会を持てたらと思う。</p>	<p>今後の事業の参考とさせていただきます。</p>
<p>番号5について、男性の育児参加促進には、「お父さんの子育て講座」が必要である。</p>	<p>例として「父子キッチン・ワーク」は、父子が触れ合いながら、また他の父子の様子を見ながら作業をするため、子育てを考え、学ぶ機会にもなっていると考えています。</p>
<p>番号12について、人生100年時代の生き方、地域の居場所づくりは男性だけではなく女性にも必要である。</p>	<p>男性の場合、女性と比して家庭や地域での活動機会が少ない現状があると認識しており、第5次計画において、男性への啓発は重点取組としています。女性への支援を引き続き実施することに加えて、男性向けの講座も実施していきます。</p>
<p>番号12について、女性が多様に活躍するためには、男性の働き方を変えていく必要がある。コロナ禍の中、zoomを使った講演会などで広く呼びかけてほしい。</p>	<p>今後の講座にオンライン講座を取り入れていきます。</p>
<p>番号14について、パートナーの協力意識醸成には、「名もなき家事」を誰がやるというアプローチは正しくないのでは。</p>	<p>掃除、洗濯、料理などのような名のある家事以外の、家庭を維持するためにしなければならない事柄や作業が、女性の肩にかかりがちです。女性が社会で活躍するために、パートナーにそれらを意識してもらい、協力を促す機会とします。</p>
<p>環境問題や食品ロスを減らす工夫という観点で考えてもらいたい。</p>	<p>今後の事業の参考とさせていただきます。</p>
<p>男性に対し、育児・家事など身近なことを通じて啓発する事業を増やしてほしい。</p>	<p>No.5「父子キッチンワーク」No.14「名もなき家事を誰がする」などの事業を計画し、男性への啓発に努めています。</p>

【資料3】管理運営状況評価の実施について

意見等	説明等
石神井警察との連携について内容を知りたい。	2階交流コーナーで年に1回、警察相談業務推進向上のための相談窓口を設置しています。平時より、センターの状況を報告し、夜間見回りに立ち寄ってもらうなど、常に連絡を取るようになっています。
感染予防マニュアルを作成し、来所する方へ配布・告知することも必要な活動だと思う。	センター独自の感染予防マニュアルを作成する予定はありませんが、所内では、国等のマニュアルに沿って作成したポスター掲示、来所する方への注意点の配布や声掛けを行っています。

【資料5】令和3年度区民企画講座応募一覧

意見等	説明等
若い世代に政治に関心を持ってもらいたい。政治について語ることを避けたいでほしい。	区民企画講座は応募団体が講座内容を自ら企画するものですが、区においても、政策等・方針決定過程における男女共同参画について継続的に取り組んでいます。
区民企画講座について、誰がどのように選定するのか分からない。	指定管理者が選定します。選定にあたっては、第5次計画の施策に基づき他の事業とともに一体的に運営するため、センター全体の事業計画の取組項目の中でのバランスに配慮して選定します。また、区と指定管理者が締結する協定においても、施設の設置目的および本事業の目的に資する企画を選定するよう定め、例月の報告書やモニタリングで実施状況を区が確認します。
区民企画講座は、新規に応募する団体は増えているのか知りたい。	増加しています。
応募した団体名が記載されていないのはなぜか。	審査前の状況のため、配慮しました。
コロナ禍の中、うつ病の人や自殺者が増えている。希望を抱く示唆のある講座を設けてもらいたい。	区民企画講座は応募団体が講座内容を自ら企画するものですが、センターにおいても、生きづらさを持つ女性への支援を行っています。今後の事業展開の参考とします。